

思い、やる、人。

www.hamada-m.com 国会質問動画配信中!

浜田まさよし通信



NO.13

発行日：2009年12月28日 発行/公明党参議院比例区第8総支部



横浜市内の中小企業を視察 (09年12月15日)

神奈川労働局視察 (09年12月15日)

その他、浜田の提案により、助成金の申請様式を5種類から3種類に削減し、分かりやすく改善、また、ハローワーク、労働局助成金窓口にも助成金支給申請アドバイザー・相談員を配置するなど、中小企業の方々が簡単に手続きができるように改善しました。

れる)を実現しました。

公明党が08年第一次経済対策「生活対策」で、雇用調整助成金及び中小企業緊急安定助成金を拡充してから、その利用が急拡大しました。そのようななか、09年7月に地元、横浜市内の中小企業から雇用調整助成金の申請期間が短く申請が間に合わないという問題を伺い、早速、厚生労働省に手続きの詳細を聴取、会計検査院に直訴した結果、相談を受けてから3日間で申請期間の延長(申請期間「1ヶ月以内」から「2ヶ月以内」とする通達)がなされる)を実現しました。

多くの中小企業から感謝の声!!
雇用調整助成金の申請期間延長を実現!

中小企業金融円滑化法が施行!! 年末金融対策を万全に

2009年12月10日、中小企業活性化対策本部(事務局長=浜田まさよし)を開催し、12月4日から施行された中小企業金融円滑化法、セーフティネット緊急保証、失業給付、雇用調整助成金など政策の実施状況について、金融庁、経済産業省、厚生労働省からヒアリングを行いました。中小企業金融円滑化法については、浜田からは、返済猶予が新規融資に影響しないよう指導を強化するよう要請するとともに、苦情相談窓口を設けて、寄せられた苦情には個別対応するよう要請しました。

現場の声を国政に、

今こそ、中小企業対策を!!

「浜田まさよし」は中小企業の味方

Hamada Masayoshi Tushin



横浜ダルク・ケアセンター訪問 (09年11月6日)



夜回り先生こと水谷氏と「夜回り」 (09年10月16日)

水谷先生の話によると、救急隊のほとんどがリストカットに及んだ子どもたちを搬送しており、しかも、再発者の搬送や、間に合わず救出できなかったことを経験しているとのこと。
再発防止のための、救急隊(総務省)と児童相談所(厚生労働省)と学校(文部科学省)という連携が全くできていないことに愕然としました。

警察庁、法務省、厚生労働省といった役所間の壁など、さまざま抱える問題について伺いました。これらの視察を元に、リストカット等の自殺行為の防止や矯正施設を含む薬物依存症の治療・支援体制の整備について質問主意書を提出し、政府の積極的対応についての回答を引出しました。



定住外国人の子ども学習支援ボランティアと意見交換 (09年7月17日)

09年10月16日深夜、横浜駅前、浜田と高校時代の同級生の夜回り先生こと水谷修氏と「夜回り」をしました。子どもたちの心を開く「辛抱強さ」を、我々大人たちが、そして行政がどう持つかが問われていると実感しました。
逗子の水谷先生の事務所でのメールチェックも「同行」させていただきました。
リストカット等の自傷行為に及ぶながら、家族や学校の先生、児童相談所などの行政には相談できず、著作や講演で水谷先生の存在を知り、ネットでアドレスを調べ、閉ざされた心の声なき声を寄せる子どもたち。

夜回りの新聞記事は大反響、支援者の方から、薬物依存に悩む人たちがその家族の実態を理解してほしいとの声が寄せられました。
水谷修氏の紹介で横浜市南区にある横浜ダルク・ケアセンターを訪ねた。
ご自身も体験を持つ坪倉洋一施設長から約1時間半にわたりお話を伺いました。
薬物事犯で満期出所になった方々に十分な再発防止教育や社会福祉が届いていない状況、依存症支援が福祉政策のハザマから抜け落ちていく実態、薬物を依存症というより犯罪として見ない風潮。

外国人の子どもたちが十分に学べないという状況があります。
そのようななか、地元の要請で、浜田は、神奈川県民部国際課に対して、文部科学省予算を活用し、これらの外国人子弟の学習支援の現場にあった事業の実施を迫り、神奈川県では、財団法人かながわ国際交流財団(平塚市等)、NPO法人かながわ難民定住援助協会(横浜市、大和市等)が実施団体として採択されました。

青少年の生命・教育を守る

夜回り先生(水谷修先生)との共働

横浜ダルク・ケアセンターを視察

大和市・平塚市等の定住外国人の子どもたちの教育支援を推進

浜田まさよし Profile

- 昭和32年2月28日、大阪生まれ、横浜育ち
- 横浜市立大綱中学、神奈川県立横浜翠嵐高校、京都大学工学部卒業
- 経済産業省課長を経て平成16年7月、参議院議員選挙初当選 元外務大臣政務官、党政調副会長、元同外交部会長、同中小企業活性化対策本部事務局長、同独法・公益法人等改革委員会事務局長、同核廃絶推進委員会座長、同神奈川県本部副代表 等
- 日本平和学会会員、ストップ結核推進議員連盟事務局長



2004 ▶ 2010 浜田まさよし 6年間の軌跡

暮らし・生命・平和を守る



ラオ香港中文大学学長と会談 (09年10月22日)



アフガニスタン・カルザイ大統領と会談 (09年3月12日)



潘基文国連事務総長と会談 (09年7月1日)

07年3月13日、浜田はジュネーブで行われた軍縮会議に出席し、日本代表として、今こそ軍縮会議が再度、実効性のある条約づくりを目指すべきとする内容のスピーチを行いました。09年5月に軍縮会議としては12年ぶりに、正式なカットオフ条約についての作業計画が合意され交渉スタートが決定しました。

ジュネーブ軍縮会議で「核軍縮」を提言し、カットオフ条約の交渉を促進 (07年3月)

子どもをはじめ民間人への不発弾による被害が深刻なクラスター弾……。この兵器を事実上、全面禁止する条約案が08年5月30日、アイルランドで開かれた国際会議において、全会一致で採択されました。日本政府は当初、条約案への同意には慎重な姿勢でしたが、浜田は外交部会長(当時)として、福田康夫首相(当時)に直接会い、クラスター弾の非人道性を訴え、日本が禁止へ踏み切るよう決断を求めました。福田首相は「任せていただきたい」と踏み込んで対応する考えを初めて明らかにし、日本政府は首相の指示で一転して条約案への同意を決めました。「平和」の党、公明党の存在感が発揮できました。

福田首相にクラスター弾禁止条約の政治決断を迫り実現 (08年5月)

日本の外交で「核廃絶・人間の安全保障」の推進を!!

3 Pickup 平和を守る



軍縮会議でのスピーチ (07年3月13日)



クラスター弾申し入れ (08年5月23日)

浜田まさよし 52の実績

- 中小企業・経済対策 ① バイオ燃料を推進—ガソリン税免除を実現—(06年3月) ② 商工中金など政府系金融機関の改革において中小企業金融を強化(06年5月) ③ まちづくり3法見直しで、コンパクトシティを実現(06年5月) ④ 改正建築基準法、沖縄等で「簡易適合判定制度」を実現(08年11月) ⑤ 免疫細胞療法の医療上の位置づけを明確化し、再生医療を推進(08年12月) ⑥ 08年度「生活対策(経済対策)」で中小企業の欠損金の繰戻し適用を実現(08年12月) ⑦ 中小企業融資を弾力化(07年11月—09年4月) ⑧ 家電のエコポイント制度で波及適用を実現(09年4月) ⑨ 独占禁止法改正で不当販売・優越的地位の濫用に課徴金適用を実現(05年改正時に国会質問で主張し、09年6月に実現) ⑩ 地域力再生機構法を実現(09年6月) ⑪ 地球温暖化対策・中期目標策定で政府・与党のコンセンサスをリード(09年6月) ⑫ 緊急保証制度で過去最多の781業種を追加指定(09年6月) ⑬ 文部科学省、防衛省の低価格入札の是正を実現(09年6月) ⑭ 偽装耐震設計被害者を支援し、耐震補強策を実現(05年12月) ⑮ 不登校高校生の居場所作り・フリースクールの高校生出席扱い・学割適用実現(07年9月) ⑯ うつ対策ワーキングチーム事務局長として現場の声を政策に反映(08年7月) ⑰ 湘南海岸の海岸浸食対策に国庫補助を適用(08年7月—09年4月) ⑱ 地元の理解を踏まえた米軍基地・キャン座間の再編の実現(08年8月) ⑲ 2度にわたり都市再生機構(U.R)の家賃引き上げを見送り(08年9月、11月) ⑳ 港北区在住、パングラディッシュ・ナシルさん一家の特別在留許可を支援(08年10月) ㉑ 21世紀東アジア青少年大交流計画で、平塚農業高校に中国の農業生を招聘(08年10月) ㉒ 地域活性化・経済危機対策臨時交付金で、税収急減・失業急増にあえぐ神奈川133自治体を支援(09年4月) ㉓ 大和市・平塚市の定住外国人の子供たちの教育支援を推進(09年5月) ㉔ 雇用調整助成金の申請期間の延長を実現(09年7月) ㉕ 菊名駅のバリアフリー化推進(09年11月) ㉖ 平和 ① 外務大臣政務官辞命(06年9月)—「非核三原則」で決意の初答弁(06年9月) ② アフリカ計14カ国訪問し、第4回アフリカ国際会議の横浜開催を実現(06年8月—08年5月) ③ 児童兵に関する国際会議でスピーチ(07年2月) ④ 拉致防止条約に署名(07年2月) ⑤ ジュネーブ軍縮会議で「核軍縮」を提言し、カットオフ条約の交渉を促進(07年3月) ⑥ 世界の結核死者1割削減を担う「ストップ結核アクションプラン」を実現(07年3月) ⑦ 日本の外交再構築に向け、150館、7500名体制をスタート(07年4月) ⑧ 国連平和構築委員会に「シエラレオネ平和構築委員会報告」を提出(07年7月) ⑨ ミャンマー災害、四川大地震に真心からの支援(08年5月) ⑩ 福田首相にクラスター弾禁止条約の政治決断を迫り実現(08年5月) ⑪ 東シナ海ガス田日中共同開発を推進(05年3月—08年6月) ⑫ 平和構築人材育成で全庁体制を構築し、NGOで働く人の支援制度を実現(08年8月及び09年6月) ⑬ アフガニスタン・カルザイ大統領と会談し、日本政府の平和協力を推進(09年3月) ⑭ 世界の島嶼国及び砂漠国への水の支援(太陽電池+海水淡水化装置)を実現(09年5月) ⑮ 「行動する国際平和主義」を貫き、インド洋補給支援法、海賊対処法、北朝鮮貨物検査法(案)で与党プロジェクト・チームをリードし策定・成立(07年9月—09年6月) ⑯ 07年10月から09年11月迄の約2年で、「核廃絶」について12回の国会質問(この期間国会議員で最多)、これらを受け「核のない世界」に向けての議論を発表(09年7月) ⑰ 潘基文国連事務総長と会談(09年7月) ⑱ 香港・中文大学で核廃絶についての公開講座(09年10月) ⑲ 質問主意書16本提出、鳩山内閣の憲法9条の解釈についての見解等を質す。(09年10月—12月) ㉑ ムダ・ゼロ ① 独立行政法人整理合理化推進で私のこと館及び雇用能力開発機構の廃止を決定(05年2月) ② 公益法人の不用基金返納で「児童手当幼児加算」を実現(07年3月) ③ 道路特別会計—一般財源化に伴う道路関係公益法人の徹底に見直しを実現(08年8月) ④ 公益法人への支出3割減を「骨太」に明記し、41%減を実現(08年12月) ⑤ 特別会計・積立金を徹底追及し、財政投資特別会計の「理蔵金約20兆円」で経済対策を実現(08年12月) ⑥ 経済危機対策で設立された46基金の3年見直し、独立行政法人・公益法人の人員費・退職金の見直し(09年5月及び8月) ⑦ 決算委員会が外国為替基金特別会計の「理蔵金20兆円」を徹底追及し、特別会計のあり方を含む徹底見直しの措置要求決議を実現(09年6月) ⑧ 公務員の裏金づくりを防止する不正経理防止法を議員立法(09年11月)

1 Pickup 暮らしを守る

中小企業・経済対策で現場の声を実現!!

● 家電・住宅のエコポイント制度で波及適用を実現 (09年4月・12月)

町の電気屋さんからの相談で、買い控えを懸念する声を聞き、政府に前倒し実施を働き掛け波及適用を実施。また、住宅版エコポイント制度についても、当初、2010年1月1日以降に工事に着手した住宅が対象でしたが、浜田の強い要請により、09年12月8日以降(閣議決定以降)に建築着工したものに對しても適用することが決定いたしました。

● 中小企業融資を弾力化 (07年〜09年4月)

災害復旧対策以外で初めて「政府系融資の既往債務の返済猶予」を実現(07年11月)、マル経融資の拡充(上限を1500万円へ)を実現いたしました(09年4月)。

● 中小企業の欠損金の繰り戻し還付を実現 (09年2月)

欠損金の繰戻し還付制度(今年度の赤字を前年度に繰り戻し、前年度の法人税を還付する制度)が、浜田の取り組みにより資本金1億円以下の中小企業(全ての業種)に對して、09年2月決算法人から復活しました。この1年間で2万社以上で約1千億円(1社当たり約4百万円還付)の活用が見込まれています。

● 企業再生支援機構法を実現 (09年6月)

民主党の反対に對して09年3月、参議院予算委員会 で修正を提案し、16兆円の緊急融資を可能にしました。

参議院予算委員会での質問 (09年3月18日)

中小企業活性化対策本部 (09年4月23日)

2 Pickup 生命を守る

世界の結核対策を拡充!!

● 結核対策を前進

ストップ結核パートナーシップ推進議員連盟事務局長として、世界の結核対策のアクションプランを取りまとめるとともに、国内でも結核医療の診療報酬の抜本的改定や、2010年度の結核対策関連予算について要請しました。併せて、「困窮状況にある結核医療にかかる診療報酬改定に関する質問主意書」を提出。政府から、今後、関係者者の御意見を伺いながら検討してまいりますとの前向きな回答を得ることができました。

フィリピン・マニラの小児結核少女宅訪問 (08年5月) ザンベアルサカへの結核二重感染者へのお見舞い (08年7月)